

【由仁町】校務D X計画

1人1台端末導入後、授業支援システムや学習eポータル等を活用し、教育のデジタル化を進めてきた。

教員間においては、校務支援システムのグループウェアやクラウドサービス積極的に活用し、伝達事項や各種資料及び教材をデジタル化して共有している。

今後、校務D Xを推進するため、具体的な取組を次のとおり設定する。

・クラウドツール（校務支援システム）のさらなる活用

システムへの名簿情報の不要な手入力作業をなくし、ペーパーレス化を図る。また、ICT支援員を通じて、クラウドツールの活用方法を提案するなど、教職員の負担軽減につなげる。

・FAXの原則廃止への取り組み

外部事業者等とのFAX送受信については、電子メールで送受信可能な手続き・やり取りを精査し、電子メールによる送受信への移行を推進する。

・押印、署名原則廃止への取り組み

各種同意・承諾に関する書類及び各種調査に関する書類等について、押印や署名の必要性を検討し、アンケートフォームに置き換える等の代替手段への移行を推進する。

・校務支援システムの更改に向けた検討

校務支援システムの更改に向け、校務系データと学習系データの連携を容易にし、積極的なクラウドサービスの活用を可能とする校務支援システムのクラウド化に向けて、セキュリティや最適なシステム構成の調査・研究を進める。また、更改後に利用するクラウドサービスについての情報収集を行う。